

論文目録

報告番号	※ 甲第	号	氏名	鶴舞 花子
主論文				
題目	大文字・小文字の使い分け、イタリック、スペース等を原著に揃える。			冊
	Significant association of <i>urokinase plasminogen activator</i> Pro141Leu with serum lipid profiles in a Japanese population			
	主論文の要旨の日本語訳と同題目にしてください。 (日本人の一集団におけるウロキナーゼ型プラスミノゲンアクチベーター多型Pro141Leuと血清脂質特性との有意な関連)			
	Gene Therapy	5巻3号	2025年2月	掲載予定 8枚
				<ul style="list-style-type: none">・投稿原稿の場合、又は最終形が出版であるがWeb掲載段階の場合⇒<u>掲載予定</u>・最終形がWeb版でWeb掲載されている場合⇒<u>掲載</u>・既に出版されている場合⇒<u>発行</u>・投稿原稿の場合は投稿原稿、又は最終形が出版の場合のWeb掲載論文を片面印刷した時の用紙の枚数(図表等を含む)・Web版が最終形でWeb掲載されている場合、もしくは出版されている場合は枚数の記入は不要
	(既に印刷公表したのものについては、その方法及び年月日、未公表のものについては、公表の方法及び時期を記入すること)			
副論文	研究内容が主論文と直接関係あるもの			冊
題目				
	(同 上)			
参考論文	研究内容が主論文と直接関係がないもの			冊
題目	Low-dose granulocyte colony-stimulating factor enables the efficient collection of peripheral blood stem cells after disease-oriented, conventional-dose chemotherapy for breast cancer, malignant lymphoma and germ cell tumor			
	(低用量の顆粒球コロニー刺激因子は、乳癌、悪性リンパ腫および胚細胞腫瘍に対する疾患志向の通常量の化学療法後の十分量の末梢血幹細胞採取を可能にする)			
	Bone Marrow Transplantation	15巻1号	2024年3月発行	英文雑誌の場合は西暦で 和文雑誌の場合は元号で記入
	(同 上)			